

**平成 16 年 7 月期 第 1 四半期業績の概況（個別）**

平成 15 年 12 月 10 日

会 社 名 株式会社サムコインターナショナル研究所 （コード番号： 6387 登録銘柄）  
( URL <http://www.samco.co.jp> )

代 表 者 役 職 名 代表取締役社長  
氏 名 辻 理

問い合わせ先 責任者役職名 取締役管理本部長兼経理部長  
氏 名 山田 史郎 （ Tel : ( 075 ) 621 - 7841 ）

**1 . 四半期業績の概況の作成等に係る事項**

売上高（又はこれに相当する事項）の会計処理の方法の : 無  
最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無

**2 . 平成 16 年 7 月期第 1 四半期業績の概況（平成 15 年 8 月 1 日～平成 15 年 10 月 31 日）****( 1 ) 売上高及び受注高**

	売 上 高		受 注 高	
	百万円	%	百万円	%
16 年 7 月期 第 1 四半期	666	( )	882	( )
15 年 7 月期 第 1 四半期		( )		( )
( 参考 ) 15 年 7 月期	3,435	( 15.8 )	3,513	( 34.3 )

- (注) 1 . 売上高及び受注高は、当該四半期までの累計値であります。  
2 . パーセント表示は、前年同期比増減率を示しております。  
3 . 当該四半期より四半期業績の開示を行っているため、前年同四半期実績及び増減率について記載しておりません。

**[ 売上高及び受注高に関する補足説明 ]**

当四半期におけるわが国経済は、企業収益の改善による設備投資の回復や、金融システム不安の緩和による株価の回復など明るい兆しが見られたものの、雇用環境や個人消費の長期的低迷、さらには円高の急速な進展などにより、依然として先行きに不透明感を抱えた状況で推移いたしました。

こうした環境の中、当四半期における当社の売上高は、大型量産用機種のリードタイムの長期化によるマイナス作用はあるものの、携帯電話やデジタル家電用途を中心に市場が拡大している L E D や L D 及び各種電子部品分野向けに、エッティング装置を軸とした販売が引き続き堅調に推移いたしました。その結果、売上高は 666 百万円となりました。

受注高につきましては、国内向けには、上記分野向けのエッティング装置のほか、マイクロレンズ形成過程用途や三次元実装用途向けの C V D 装置などを中心に、積極的に受注活動を展開し、また、海外向けでは、特に北米東海岸地域において、ナノテク開発一大拠点と称されるデラウェア大学へ前期に装置を納入した波及効果もあり、主にマイクロマシン用途での受注が好調に推移いたしました。その結果、受注高は 882 百万円となりました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

[概要]

当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象は発生していません。

3. 平成16年7月期の業績予想(平成15年8月1日～平成16年7月31日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益
中間期	百万円 1,760	百万円 185	百万円 100	円 銭 _____
通期	4,400	660	355	71 38

[業績予想に関する定性的情報等]

現時点において中間期及び通期の業績予想に変更はありません。

以上

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。